

第一回 災害関連研修会のお知らせ

～「三鷹市福祉 Labo どんぐり山」発～

さてさて皆さま

「もしも」は、突然やってくるものです。

自分で避難するのが難しい方を支えているあなたは、その時、どう動きますか？

- ・「地震が来たら…とりあえずテレビつけとけば大丈夫！」(ほんとに？)
- ・「避難先でごはんは？ トイレは？ ヘルパーさん来られるの？」
- ・「スマホが使えなかったら、連絡どうしよう？」

そんな“あるある不安”を持ち寄って、
「現実的にできること」「誰と連携するか」など、
みんなで声を出し合い、一緒に考えてみませんか。

「なんかここんところが気になるんだよね～」という方、どなたでも参加 OK！
職種も、地域も、世代も問いません。
ご本人、ご家族の参加も大歓迎です！！

“ちょっと不安な誰か”に、
“ちょっと動ける誰か”が安心を届けられる——
そんなつながりを作っていく場にしていきたいと考えています。

皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

■日時・場所につきましては、次ページの案内チラシをご参照ください。

※三鷹市役所の防災課、地域福祉課、高齢者支援課からもご参加いただく予定です。

東郷倶楽部 代表
東郷医院 院長
東郷清児

在宅療養者の災害時避難に関する検討会 ご参加のお願い

『知は現場にあり！』

— 支援のかたちを、現場からともに考える —

令和7年6月吉日
東郷倶楽部
代表 東郷清児

拝啓 新緑の候、皆さまにはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

昨年度は、災害に関するアンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。
多くのご意見から明らかになったのは、在宅療養者、特に災害時要配慮者への避難支援体制が、未だ十分に整っていないという厳しい現実でした。

私たちは今、このままでは「いざ」という時に、命を守る支援が行き届かない可能性がある
— そのような強い危機感を抱いています。

近年、自然災害はますます予測困難で激甚化しています。
だからこそ、今この時にこそ、現場が動き出さなければ何も変わらない！— その想いで、
私たち東郷倶楽部は、「三鷹市福祉Laboどんぐり山」の研究の一環として、この課題に正面から向き合い、在宅療養者を誰一人取り残さない支援体制の構築に取り組んでいます。

このたび、6月13日18時30分より三鷹市役所にて、医療・介護・福祉の現場に携わる皆さまと、避難所の実態や課題を共有し、率直な意見交換を行う場を設けることといたしました。

本会は、今秋にも予定している行政との連携・協働に向けた、大切な一歩です。

支援の形は、現場の声からしか生まれません。
皆さまの知恵と経験を、どうかこの場にお寄せください。

いざという時に、誰ひとり取り残さない地域をともに築くために。
皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

敬具



誰が？
どうする？



三鷹市福祉Laboどんぐり山/東郷倶楽部 協働研究事業

緊急時・災害時を想定した実効性のある連携
～平時からの備えと連携～

発災！



対象 在宅療養に係る方

受講料 なし

参加人員 60名まで

対面形式にて

「この人、どこに、避難させればいいのか？」

災害時、在宅療養者をどこに避難させるべきか——
一般の避難所？福祉避難所？それとも在宅避難？
医療救護所や医療機関とはどう連携する？

一人ひとりの状態、状況に合わせた避難先を、
平時から考え、確認しておくことが、
命と尊厳を守る第一歩。

専門職どうしがつながり、話し合うことから始めましょう。
あなたの声を、ぜひお聞かせください！！

福祉避難所は？

日時 6月13日(金) 18:30～20:00

場所 三鷹市役所第二庁舎4階

242会議室・243会議室

申込先 メールまたは←QRコードにて

東郷倶楽部 担当者 前村

togoclub.2024@gmail.com

平時の備えは？

